

『ソク・サバーイ！ 続カンボジア・サッカー見聞録 ～牛の  
向こうに未来が見える～』 Vol. 3

● J F Aサッカー1級インストラクター 唐木田 徹



朝5時半、朝焼けと共に怪しい雲行き……

みなさんこんにちは。

9月の大型連休、ゴールデンウィークならぬシルバーウィーク（本  
当にこういう名称？）はいかがでしたか？ あいかわらずサッカー  
漬けだったり、あるいは家族サービスで一息と、それぞれに過ごさ  
れたことでしょう。

カンボジアの9月は「プチュンベン」という、日本のお盆にあたる行事があります。今年は18～20日までが休日でした。しかし、プチュンベン自体は2週間なので、気の早い（信心深い？）人たちはそうそうに田舎へ戻り、お寺へお参りに行っているようです。プノンペンには8割くらいのお店が閉まっていて、道路もいつもの渋滞など嘘のようにスムーズです。

さて、今回はFIFAレフェリーの選考についてお話しします。みなさんご存じの通り、FIFAは各国のチーム成績、審判実績や組織力などを参考に、毎年FIFAレフェリーの定員を決めています。日本は主審7名、副審9名エントリー可のカテゴリー1です。カンボジアはというと、主審3名、副審5名のカテゴリー5。ちなみにカテゴリーは7まであり、アフガニスタン、ブータン、東チモール、グアム、モンゴルの5カ国が主審1名、副審2名となっています。

そこで2010年のFIFAレフェリー登録のためのフィットネステストを行いました。テストはおなじみの40m×6とインターバル走です。朝6時。コースのセッティングにスタジアムへ向かい

ます。セッティングと言っても、事前にコースの縁石にペイントしておいたので、コーンやスピーカーの設置です。ちなみに、トラックは土で、雨季の影響によってインコースは軟弱です。(乾季はデコボコですが) 400m……ありません。なぜだか分かりませんが、何度測っても398mです。“メジャーが間違っているのか?”。



案の定、7時過ぎには降りだして……

スタートは7時、まず40mからです。しかし、ここでいやな予感が的中……。途中から雨が降り始め、あっという間の土砂降り状態。とにかく40mを終わらせて、スタンド下へ避難。雨は20分くらいで止むでしょう。しかし、日本の環境ならともかく、こちら

は土のトラックなので今日は終了です。改めて、金曜日の朝にインターバルを行うことにしました。ちなみに、今日は火曜日です。



40mだけで終了です

さて、金曜日。前日に雨は降らなかったのですが、火曜、水曜の雨の影響でインコースは走れません。仕方がないのでアウトコースよりレイアウトを変え、150mはしっかり取り、50mのウォーキングゾーンを多少長めにアレンジしました。主審タイム、副審タイムの順にそれぞれ行い、何とか無事終了。

後日、この結果をもとに4名を入れ替えた新しいFIFAレフェリーを選考しました。



3日後、インターバルだけ行いました。お疲れさま

実は、F I F Aレフェリー選考のためのフィットネステストを行ったのはこれが初めてだそうです。というよりも、研修らしい研修は行われていず、フィットネステストさえ実施されていなかったのが実情です。彼らに必要なことは、当たり前のことをきちんと遂行していくこと、そしてフェアな観点から未来を設計していくことです。

今度新しく登録される審判4名は、みな20代です。彼らは、自分たちがこんなにも早くF I F Aのステージ立てるなどとは、思い

もしなかったでしょう。現在のFIFAたちが定年になって初めて席が空く、というこの国の慣習から180度転換したわけですから。その喜びとともに、FIFAとしての自覚を強く持って、これからのカンボジアを牽引してもらいたいと思っています。

※『ソク・サバーイ』とは、クメール語で「元気です」「元気ですか？」（正式にはソク・サバーイ・テー？）の意。